

## 知財コンサルティングセンター(PCIP)勉強会報告

開催日時 : 2024年12月14日(土) 15:00~17:00

タイトル : 経済安全保障の確保に向けて ~事例から学ぶ知的財産の流出防止~

講師 : 猪股 浩司 様 公安調査専門職

参加申込者 : 20名

概要 : 経済安全保障をめぐる動きが活発化する中、私たちの「強み」を不当に奪い去ろうとする懸念主体が、日常の経済・学術活動を装って我が国企業・大学等に取引・交流を持ちかけ、我が国の機微な製品や技術、知的財産等を流出させようとするケースが把握されている。

我が国から、技術・データ等が意図せず流出した場合、我が国が有する国際的な競争力や研究の新規性が失われるおそれがあるほか、大量破壊兵器等の研究・開発等に転用され、国家・国民の安全が脅かされるおそれもある。

本勉強会では、我が国で発生した「ヒヤリハット事案」の他、トラブルに巻き込まれないためのポイント等を紹介いただき、参加者とともに意見交換した。

主な内容は、以下のとおり

### 国際情勢の日本への影響 :

経済安全保障に関する近年の国際情勢と日本への影響について説明

### 事例と対策 :

日常の業務に潜在する経済安全保障上のリスクについて、様々な事例とともに紹介

### 官民連携に関する公安調査庁の取組 :

各種講演の実施、勉強会への参加等、官民連携の強化に向けた取組を紹介

### 所感

- ・企業内で危機感を持てるのが重要となる⇒早い時期から、啓蒙活動が必要
- ・企業内での機材管理、アクセスの制限化（ハード、ソフトの両面からの対策が必要）
- ・個人情報からのコンタクトに対し、心の準備と毅然とした態度が必要
- ・管理マニュアルを作成し、情報アクセスの制限実施が不可欠

以上